

異議あり！2020年オリンピック東京招致



～東京都連盟としての姿勢と見解～



今年に入り東京都のオリンピック招致活動が活発化しています。3月4日からはIOC 評価委員が現地調査のため東京に入ります。新日本スポーツ連盟東京都連盟としては「異議あり!2020 オリンピック東京招致実行委員会」の一員として運動を行い招致活動に反対しています。ただしオリンピックを否定するものではなく「東京に招致」することへの反対です。反対する理由として、まず石原慎太郎前都知事の独断で決め都民の意向を無視したトップダウンによる招致であること、東京都が掲げる「2020年の東京計画」(主に臨海部の大型開発)を達成するためにオリンピックを利用しようとしていること、立候補ファイルに大きな矛盾、不備があり招致するに値しない状況であること、東北復興支援についてはトーンダウンし東京の発展に問題をすり替えていることなど共通してオリンピック精神に反する事項が多々あるということで異議ありの声をあげています。またオリンピック招致や国体、東京マラソンなどの企業が儲かり、マスコミを駆使したポピュリズム的風潮の煽りお祭り騒ぎのようなスポーツ事業へは予算を使い、都民一人一人がスポーツを行う環境を全く整えようとはしないのが東京都の現状です。スポーツ施設の人口比は全国最下位にあることから都民スポーツの振興は無視されつつづけていることがわかります。はたして東京都は都民のスポーツ振興を本当に考えているのかと疑問です。昨今、表面化し「体罰」という名の指導者による暴力問題についても議論が始まったばかりであり、また JOC や日体協は今の段階では具体的な策を打ち出していません。今まで述べたような未熟なスポーツ環境や開発ありきの状況下で、東京都はオリンピックを招致する資格が本当にあるのでしょうか。東京都が直ちに2020年の招致を取り下げることに願うとともに、今年9月のIOC総会で委員の方々が良識ある判断を下すことに期待します。

「異議あり!2020 オリンピック東京招致」のご案内

日 2013年3月4日(月)
 場 日本青年館 501 会議室
 時 18時30分から
 参加費 無料



主催：異議あり 2020 オリンピック東京招致実行委員会
 ※お問い合わせは新日本スポーツ連盟東京都連盟まで

第48回総会に向けて ～第44期第3回評議員会～ 岸町ふれあい館(北区)

2013年1月26日(土)に第3回評議員会が北区の岸町ふれあい館で開催されました。主に3月に開催される総会に向けた議案の最終確認を行いました。その中で12,000人の連盟組織を目指しどのように運動を拡大させていくか、スポーツのひろばを普及すること、施設問題、理事会を大きくすること、今期、来期の決算予算案等話し合いました。また昨年9月23日に誕生した荒川区連盟の加盟と長らく活動休止中であったゴルフ協議会の脱退も承認されました。時間的な制約が多く、活発な議論を以て閉会!とはならず評議員会の今後の在りかたも都連盟発展のために議論していく必要があるのではないかと感じさせる会議でもありました。



1.29 地域組織交流会議 開催

1月29日に地域組織の交流や情報交換を行える場として、数年ぶりに地域組織交流会議が再開されました。7つ目の区連盟となる荒川区連盟が9月23日に立ち上がったことをきっかけに、改めて地域組織とはどういう役割があるのか？また、各組織の活動報告からヒントを得て、その後の活動に生かせるものを見つけてもらうこと、地域組織間で連携を深め、それぞれが抱える問題をみんなで解決していける場として会議が開かれました。今回は、中野区連盟、北区連盟、板橋区連盟、杉並区連盟、荒川区連盟より13名が参加しました。

スポーツ基本法を生かすための地域組織の役割と課題、活動報告、組織拡大についてなど、確認を行うと共に各組織から話しがありました。

中野区連盟では、平成19年度に決定した中野区の施設使用料金について、平成26年度に向けて現在、区と交渉を行っているとの報告がありました。内容は、施設使用料算出方法の中に、「職員人件費」や「建物の原価償却」、施設の維持管理、などを含めたものが施設使用料に含んでいるという問題でした。

板橋区連盟では、「板橋区政施策への要望、要請」を行い、区長より回答をいただいたことや、新たな種目として昨年からカポエイラやボウリングを競技種目に取り入れたことや、第50回スポーツ祭典に向けてサイクリングも種目競技として検討しているなど、区連盟拡大に向けて積極的な活動報告もされました。

北区連盟では、基本要素5項目と施設制度改善要求を北区教育委員会へ要望書を提出し10月に役所にて交渉が行われたことが報告されました。

荒川区連盟からは、協議会の確立を第一優先として行っていて、荒川ウォーキングクラブの立ち上げを機に、他の協議会発足に向けて、各協議会へ協力をいただいている状況であると報告がありました。

今回の地域組織交流会議は、久しぶりに行われたという事もあって、時間が足りませんでした。スポーツ愛好者の声をそれぞれの自治体に届け、「より良いスポーツ環境を都民へ」という気持ちは一致していることが確認できた会議となったのではないのでしょうか。

「茨城県にスポーツ連盟を立ち上げよう」 第1回関東ブロック会議 復活！！

2月9日、久々の関東ブロックが開催され、埼玉県連盟、千葉県連盟、神奈川県連盟、東京都連盟の4連盟から、理事長、事務局長レベルの会議が行われました。

2010年の28回全国スポーツ祭典を関東ブロック中心に開催して以来、関東ブロックの会議が休止していたため、久々の顔合わせとなりました。

関東ブロック会議を再出発するに当たっては、各都県連盟自身の忙しい活動がある中で開催になるので、有意義で効率の良い会議にすることで一致しました。

関東ブロック会議の構成は、各都県連盟の理事長、事務局長で構成することとし、1年間に3回程度の開催を予定しました。

関東ブロック会議の目的としては、関東の空白県へスポーツ連盟の組織を立ち上げること併せて、会議が開催されることによって各都県連盟の活動が元気になるように交流を深めることの2つの目的を確認し、当面は茨城県でのスポーツ活動を展開すると同時に、スポーツ連盟結成のための懇談会を準備することとなりました。

最後に、2014年に関東ブロック主催の「スポーツセミナー」の開催に向けて、各組織で開催時期や内容について、検討して次回会議に反映することとなりました。出席された方々、大変お疲れさまでした。

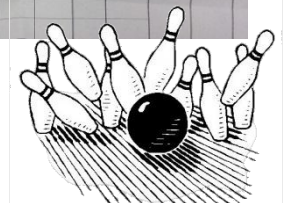


板橋テニス協議会「SKY」が優勝！

～ 新春交流ボウリング大会 & 新年会 ～

1月12日(土)に板橋区西台駅前にあるトモコシ高島平ボウルにて、新年会を兼ねた都連盟恒例イベント「新春交流ボウリング大会」が行われました。都連盟理事をはじめ、板橋区連盟、荒川区連盟、ウォーキングクラブ、板橋テニス協議会所属のSKY、総勢26名が参加しました。試合は2人1組のペアをつくり、1チーム3ペア(計6人)、合計5チームによるチーム対抗戦を行いました。原則として、ペアは必ず交互に投げ、協力してスコアを伸ばしていくというルール。ペアごとに3ゲームを投げて、チームの合計得点で順位を決めました。萩原理事長の始球式が行われ、いざゲームスタート! 各チーム、ストライクやスペアを出すたびに「ワー! やった〜!」と喜ぶ声や、ハイタッチを交わす姿が見られました。結果は GROSS、TOTAL ともに板橋テニス協議会所属のSKYが1位となりました。その後、近くの居酒屋で新年会が開かれましたが、地域や協議会を越えて談笑の輪が広がり、楽しい交流イベントとなりました。

No.	チーム名	GROSS					HDCP	NET	チーム TOTAL	順位
		A	B	1G	2G	3G				
21	荒川区連盟	大野 井上	80	102	69	251	60	311	680	5
		新井 杉本	99	124	96	319		319	630	
22	板橋区連盟	高橋 山本	192	155	108	401	60	401	1250	2
		山本 山本	111	102	139	352	60	412	833	
		山本 山本	137	108	132	377	60	437		
23	ウォーキングクラブ	山本 山本	99	68	95	262	120	302		3
		山本 山本	102	119	96	317	60	377	759	
24	SKY	山本 山本	118	118	133	369		369	1002	1
		小林 山本	133	110	89	312	60	372	668	
		山本 山本	81	99	81	261	60	301		
25	荒川区連盟	山本 山本	150	156	119	435	60	495	1237	4
		山本 山本	135	118	121	374	60	434		
		山本 山本	128	122	128	378		378	844	
26										



祝・北区ナーレ2012

北区ナーレ2012は、今から50年前の1963年に北区で「青年スポーツ祭典」が行われたことが原点です。それから半世紀、今年は50年という節目の年を迎えることができ、記念すべき祭典となりました。はじめは、各種組合や競技種目の愛好者と実行委員会方式で始まりました。その後、1975年に新日本体育連盟北区連盟として組織化したことで活動が大きく広がり、スポーツ愛好者に喜んで頂けるスポーツ活動に成長することができました。



今年度は、東京都連盟や隣接する板橋区連盟と荒川区連盟の出席をいただきました。これを機に、地域組織が連帯し多様なスポーツ活動に対応できる様、協力関係が構築できればと考えています。また、今回の北区ナーレには、北区教育委員会事務局から、峯崎スポーツ振興課長と関根スポーツ施策課長が出席してくれました。これは初めての事で、スポーツ連盟がスポーツ愛好者の要望に応えた活動を50年続けて来た事に対する行政側の評価だと考えます。

今後は、より一層参加者と一体となり、北区ナーレもスポーツ連盟の活動も活性化できる様、取り組んで行こうと思います。



第1回在日外国人交流バドミントン大会



1月5日(土)に荒川区連盟主催の外国人交流バドミントン大会が開催されました。男子と女子は6チームずつ、混合は12チームで日本人と外国人が無差別にペアを組んでダブルス大会を行いました。結果は、男子は加治・西田ペアが優勝、女子はYoomiLee・Bomikim ペアが優勝しました。また、混合では、12チームを4ブロックに分け、3チームによる総当たり戦を行い、各ブロックの1位~3位を決定。その後、同順位

同士を3ブロックに分けて総当たりのリーグ戦を行いました。結果は、予選1位グループでは岡田・下司ペアが優勝、予選2位グループではkim・Leeペアが優勝、予選3位グループでは小山・瀬戸口ペアがそれぞれ優勝しました。



東京都連盟スポーツカレンダー 2013年4月～2013年5月

卓球

- ・中高生卓球大会
4/1(月)、2(火)東京体育館
- ・東京リーグ
4/29(祝)江東スポーツ会館
日野市民の森体育館
5/1(水)東京体育館
5/2(木)東京体育館
5/4(土)中央区総合体育館
5/5(日)中野区体育館
5/11(土)上板橋体育館
5/19(日)駒沢体育館
- ・関東オープン団体戦
5/11(土)松戸運動公園体育館
- ・関東オープンレディース3D
5/15(水)東京体育館
- ・3ダブルス大会
5/25(土)上板橋体育館

■練馬区

- ・春季卓球大会(S)
4/14(日)上石神井体育館

■杉並区

- ・杉並団体リーグ
5/26(日)上井草スポーツセンター

■中野区

- ・中野オープン(S)
4/28(日)中野体育館

■大田区

- ・大田MIX&女子団体戦
5/19(日)大森スポーツセンター

■荒川区

- ・荒川オープン団体戦
4/13(土)荒川総合スポーツセンター

■北区

- ・北区プログレスリーグ(S)
4/6(土)桐ヶ丘体育館

■多摩地区

- ・ハッピーカルテット
5/22(水)柴崎市民体育館

陸上競技

- ・春季陸上
4/6(土)駒沢陸上競技場
- ・月例多摩川ロードレース
4/14(日)、5/12(日)
多摩川土手河川敷
- ・ふれあい赤羽駅伝
4/21(日)荒川河川敷
- ・月例赤羽マラソン
5/26(日)荒川河川敷

テニス

- ・多摩春季テニス大会
4/7(日)都立小金井公園

■北区

- ・ミックスタブルトーナメント
4/21(日)新河岸テニスコート

■板橋区

- ・男子・女子壮年シングルス大会
4/20(土)新河岸テニスコート
- ・ミックスタブル大会
5/11(土)新河岸テニスコート
- ・初心者ミックスタブルス
5/18(日)加賀テニスコート

バドミントン

- ・東京春季フェスティバル
5/25(土)大森スポーツセンター

■練馬区

- ・第9回練馬春季大会
4/14(日)光が丘体育館

■北区

- ・第38回北区春季大会
5/4(土)桐ヶ丘体育館

■荒川区

- ・第1回荒川区春季団体戦
4/16(土)荒川スポーツセンター

■中野区

- ・第25回中野春季大会
4/29(祝)中野体育館

ウォーキング

- ・第112回例会
逗子の歴史にふれながら鎌倉へ

4/6(土)京急新逗子駅改札

- ・平和国民大行進
5月6日(月)、7日(火)
夢の島～芝公園、芝公園～川崎
- ・第113回例会 春季フェスティバル
狭山荒幡富士とトコの森を歩く
5/19(日)西武多摩湖線
武蔵大和駅改札

バレーボール

- ・バレーボール男子リーグ戦
5/11(土)駒沢屋内球技場

■板橋区

- ・レディースバレーボールオープンリーグ
4/21(日)赤塚体育館
5/26(日)赤塚体育館

サッカー

■北区

- ・男子リーグ(フットサル)
4/7 浮間こどもスポーツひろば

カポエイラ・ナサオン

- ・ワークショップ・体験会
4/28(日)板橋区

バスケットボール

■北区

- ・男子・女子トーナメント
5/3(金)桐ヶ丘体育館

編集後記

体罰や暴力が大問題。各競技団体や学校スポーツの分野で対応が迫られています。帝国軍隊の絶対服従の上下関係を作り、ものを考えない軍人をつくるのに体罰や暴力が是認され、その名残がスポーツに。もう放置できない。スポーツの価値を高めるために。スポーツは自分自身がその可能性に挑戦するもので、他人にコントロールされて行かないものではないのだから。(H)